

# Message

## 第 28 号

2019.7.19

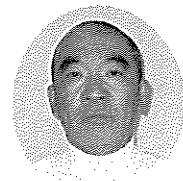
### =メッセージ=

島根県立島根中央高等学校  
島根中央高等学校PTA広報委員会

## 新時代に向けて

PTA会長

佐藤 龍 美



令和という新しい時代に入り、2ヶ月が経とうとしています。今年度は入学生が90名に達し、活気のあるスタートとなっていると感じています。

日頃から島根中央高校でも、先生方をはじめ、地域の方と一体となつて魅力のある学校づくりに取り組んでおられますが、今後も生徒一人一人が充実した学校生活を送れるように、できることは支援したいと思っております。また、教育環境が変化しつつある中、卒業後も生徒たちが、自分の希望する進路に進めるよう、将来に夢や希望が持てるように、学力向上・入試対策・社会人として活躍できるような人材育成などに、さらに力を入れてほしいと願っています。

そして、生徒たち自身も高校生活を通して成長できたと実感できるよう、PTAも協力していきたいと思えます。保護者の皆様のご協力もよろしくお願ひします。

## 環境より学ぶ意志

校長 三島 祐 司



4月1日は、私が島根中央高校に赴任した日です。この日、新元号が「令和」と発表されました。5月1日、平成から令和へと変わりました。この歴史的な瞬間を、私は島根中央高校校長として迎えました。

4月9日には、5年後の2024年に新紙幣が刷新・発行されることも発表されました。新5千円札の肖像画として選ばれた人物が、女子専門教育の先駆者と呼ばれる津田梅子です。津田女史は、「環境より学ぶ意志があればいい」という言葉を残しています。

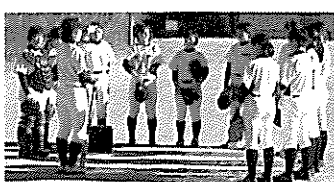
私が高校生だった頃の教育環境は、今と比べると決して良い環境とは言えなかったと思います。そして授業についても、ほとんどが先生から一方的に教えていただくという形式でした。また私自身、なぜ勉強するのかなどは考えず、勉強するのは当たり前のこととして捉えていました。

しかし、時代の変化とともに教育も変わっていきます。子どもたち一人一人のニーズに合わせた教育、個別支援・指導の充

実、授業力向上の取組、ICT機器環境の整備等、教育環境の充実・整備が加速されています。さらには、学校と地域が一体となつて、子どもたちが学びやすい環境を作ることが重要視されています。本当に素晴らしいことだと思います。ただ、忘れてはならないこと、それが「環境より学ぶ意志」です。どれだけ環境を整えようと、子どもたちの学ぶ意志がなければ意味をなしません。我々大人は、環境を整えると共に、子どもたちの学ぶ意志を育てなければならぬと考えます。

平成という時代は、今後どのような時代だったと振り返られるのでしょうか。そして令和という時代は、どのような時代になるのでしょうか。新しい時代を作る中核を担うのは、今の生徒たちです。多様な価値観を認め合い切磋琢磨しながら学べる環境を本校の最大の強みとし、一人一人の成長を促す教育を実践して参ります。そして、保護者の皆様や地域の皆様から信頼される所存です。さらなるご支援とご協力を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 女子硬式野球部全国大会 初出場に向けて



4月に創部された女子硬式野球部は現在、選手12名(島根県出身7名、広島・山口県出身5名)にマネージャー2名の計14名で元気に活動しています。月曜は川本町民球場、水・木曜は旧川本西小学校グラウンドに自転車通い、金・土・日曜は男子野球部と調整しながら学校や隣接する町民体育館で練習しています。女子の硬球は、男子とほぼ同じで、使用する球場の規格も同じです。違うのはインングが7回までということですが、現在、全国高校女子硬式野球連盟に加盟している学校は約35校(うち7校が今年新設)で、本校初の公式戦が第23回全国高等学校女子硬式野球選手権大会となります。7月26日(金)に兵庫県丹波市で開幕するこの大会は32チームが出場し、本校は大会2日目の第4試合に東京都の村田女子高校と対戦します。格上の相手となりますが、初戦突破できるような戦ってきましますので応援よろしくお願ひいたします。

# P T A 総会開催

5月11日(土)

5月11日(土) 令和元年度PTA総会を開催しました。学校状況説明、平成30年度事業報告、決算報告、監査報告、令和元年度事業計画、予算が審議され、原案どおり承認されました。

## 令和元年度PTA新役員

- 会長 佐藤 龍美
- 副会長 湯浅 晃誠
- 坂根 尚美
- 井上 豊則
- 三島 祐司 (校長)
- 監事 上坂 学
- 飯塚 智
- 澤津 賀一

## 委員会構成メンバー

- 広報委員会●
- 委員長 岡田 友枝
- 副委員長 中島 陽子
- 担当副会長 松岡 知華子
- 担当監事 湯浅 晃誠
- 評議員 飯塚 知智
- 中島 陽子
- 松岡 知華子
- 岡田 友枝
- 渡邊 晃正
- 山田 光夏
- 学校担当者

## 生活指導委員会

- 委員長 町田 芳香
- 副委員長 横室 隆幸
- 担当副会長 坂根 尚美
- 担当監事 上坂 学
- 評議員 横宮 孝幸
- 木村 千波
- 田室 篤史
- 非々 篤史
- 渡邊 亜矢
- 大石 博行
- 寺本 節夫
- 町田 芳香
- 大平 暁男
- 白石 由紀
- 田中 浩二
- 上田 浩二
- 岩田 智暁
- 学校担当者

## 研修委員会

- 委員長 竹下 寛二
- 副委員長 増谷 則之
- 担当副会長 井上 豊則
- 担当監事 澤津 賀一
- 評議員 三宅 康二
- 佐々木 重夫
- 天野 清子
- 吉田 希二
- 三宅 康二
- 澤津 賀一
- 井上 豊則
- 増谷 則之
- 竹下 寛二
- 林 朋宏
- 竹林 寛二
- 森原 明敏
- 増谷 則之
- 重富 保之
- 橋本 百治
- 吉本 浩治
- 清水 恵
- 学校担当者

## 1学期の出来事

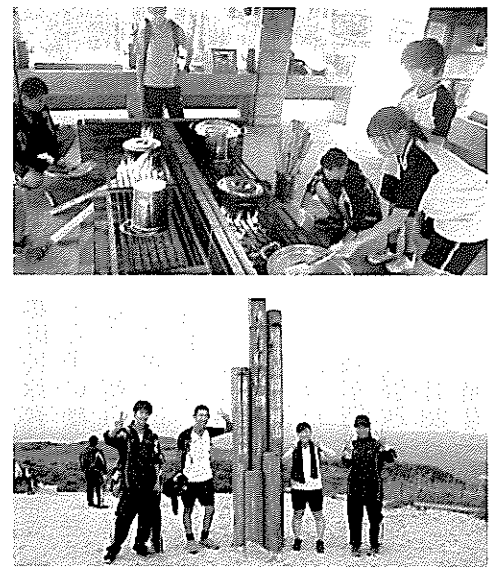
### 遠足

4月17日、毎年恒例の遠足に出かけました。今年の遠足は、1年生が広島県の安佐動物園、2年生は出雲大社、3年生は広島県の宮島となりました。新しい学年、新しいクラスとなり、緊張した様子で出発しましたが、バスの中では会話が盛り上がりあつという間に現地に着きました。天候にも恵まれ、時間いっぱい友達と楽しい時間を過ごすことができました。



### 三瓶合宿研修

6月5、6日に1年生の三瓶宿泊研修がありました。入学して2ヶ月経ち、さらにクラス・学年の仲を深め、集団行動の力をつけることを目的とし、野外炊飯でビーフカレーを作ったり、グループワーク登山をしたりと友情を深めました。また、進路講演会を聞いて自分自身を見つめ直し、学習会では自分で計画を立てて学習に取り組みました。



### 情報モラル講演

6月14日に情報モラル講演会があり、講師の長谷川陽子さんにインターネット・SNSの使用方法についてお話していただきました。長谷川さんは、フジテレビの「ホンマでっか!?TV」に出演されたご経験もあり、生徒は興味津々で話を聞いていました。一つ使い方を誤ると加害者にも被害者にもなるということで、生徒一人一人が改めてインターネットの使い方を見直すきっかけとなりました。

## 島根中央高校への思い

今年度も県内外から入学された生徒・保護者の方に寄稿いただきました。

### 「親子の距離」

1年1組 南雲瑛結さん 母  
(東京都 西戸山中出身)

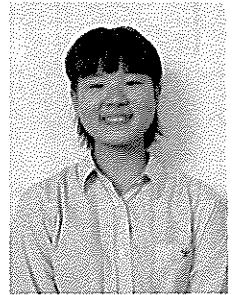
高校は東京を離れて自然豊かな地で寮生活をしたい、と言いだした娘のために、寮のある学校を色々調べましたが、私立高校は、学費、寮費が高く経済的に難しいと感じていました。たまたま中学校に貼ってあったポスターで、「地域みらい留学」を知り、説明会に参加し、島根中央高校と出会いました。

15歳の子供を遠くに送ることは心配であり、また寂しくもあり、もう少し近くにもいい学校がたくさんあるよ、と島根中央高校の進学を婉曲に反対してみたものの、娘の決心は鈍らず、入学の日を迎えました。中学から続けてきた吹奏楽部に入部し、弾んだ声で日々の報告をする娘に島根

中央高校を選んで良かったと思ったのもつかの間、激しいホームシックにかかり、「帰りたい」と訴える娘に親も子もおろおろするばかりでした。毎日、長い時間電話で話をし、時にはまち親さんのお宅で休ませていただきました。そして何よりも友達ができたことで、次第に落ち着いてきました。家にいるときは反抗的な態度をとることもあった娘ですが、離れたことで反対に心の距離は縮まったように感じます。

東京で生まれ育ち、進学、就職でも東京を離れるという発想すらなかった私と比べると、多感な時期に多様な価値観を持つ友達、恵まれた環境で過ごす子どもたちはどんな大人になるのだろうか楽しみます。

〈南雲瑛結さんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由はなんですか？

地域みらい留学で島根中央高校を知り、自然豊かな環境と寮生活に魅力を感じ島根中央高校に決めました。

Q 入学してからこれまでを振り返ってみてどうでしたか？

最初は慣れないことも多く不安でしたが、徐々に慣れ優しい先輩や友達と楽しく過ごしています。

Q 入学して自分が変わった(成長した)と思うことは何ですか？

寮で生活することで、時間を見て行動するようになり、無駄に過ごす時間がなくなりました。

Q 家族に向けて一言！

寮で生活をしてみて、親のありがたみを実感しました。

3年間しつかり島根中央高校で頑張るので応援お願いします。

### 「今、思うこと」

1年1組 行田朋晃くん 母  
(邑智郡 邑智中出身)

入学してからまだ3ヶ月とは思えないほど、この3ヶ月間は息子にとつても親にとつても、大変密度の濃いものでした。それくらい、毎日充実した高校生活を送ることができているのだと思うと、ありがたくうれしい気持ちでいっぱいになります。

中学校の部活動で始めた力又ー。親も驚くほど、息子は力又ーの魅力にはまり、夢中になりました。高校でも力又ーを続け、インターハイや国体で優勝することを目標に頑張りたいという息子の強い思いから、島根中央高校への入学を決めました。部活動顧問の先生の温かくも熱い指導、優しく信頼できる先輩方、心を許せる仲良しの仲間に囲まれて、本当に大好きな力又ーに没頭できている息子を見ると、島根中央高校に

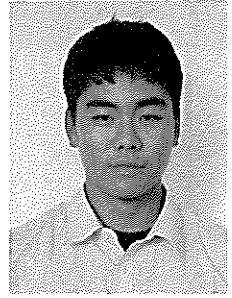
入学して良かったとつくづく思います。大会の応援に行くと、中学時代と比べ、体も一回り大きくなり、漕ぎも力強くなったと成長を感じます。これからも、周りの方への感謝の気持ちを忘れずに、自分の目標に向かって、努力し続けて欲しいと思います。

また、学級の方でもたくさんの友達ができ、毎日楽しく過ごしているようで安心していきます。学習の方は、多少心配してはいますが、今のところは、自分なりに頑張れているのかなと思っています。

高校生活の3年間は、あっという間だと思えます。だからこそ、島根中央高校で出会った仲間と、より絆を深め、たくさんの心に残る経験をし、さらに成長していつてくれることを心から願っています。

先生方、地域の皆様には、いつも大変お世話になり、ありがとうございます。これからもどうぞよろしく願っています。

〈行田朋晃くんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由はなんですか？

僕が島根中央高校を選んだ理由は二つあります。一つ目は、カヌー部があることです。島根中央高校のカヌー部に入り、顧問の先生のもと練習に励むことでインターハイ優勝、国体優勝、日本代表になれると強く思ったからです。二つ目は大学進学を目指している僕にとつての勉強できる環境が、島根中央高校にはあると思ったからです。

Q 入学してからこれまでを振り返ってみてどうでしたか？

僕のクラスは、ほとんど知らない人たちだったので、友達になれるか不安でした。しかし、今ではクラスの全員と仲良くなり、毎日一緒にしゃべったり、お弁当を食べたりして、楽しい日々を過ごしています。

Q 入学して自分が変わった(成長した)と思うことは何ですか？

高校に入り、部活動などの時間が長くなり、帰宅する時間が遅くなったため、中学校の頃と比べて家庭学習の時間が短くなりました。ですが、その分、自分で時間を見つけ、少しの時間でも集中して学習できるようになりました。

Q 家族に向けて一言！

いつも朝早くからお弁当を作ってくれ、カヌーの大会時には応援に来てくれてありがとうございます。これからも学習・部活動ともに頑張っていくので応援よろしくお願いします。

「頼もしい高校生へ成長中」

1年3組 山田陽真里さん 母  
(広島県 大竹中出身)

我が家が島根中央高校のことを知ったのは、娘が中学3年生の6月頃でした。主人から女子硬式野球部が創部されるらしいと聞いて、娘はすぐに興味を持ち、体験に行ってみたくて言いました。高校でも野球を続

けたいという気持ちは固まっていたのですが、まだ志望校を決めかねていた時期でした。初めて島根中央高校を訪問した時、駐車場で車の誘導をしてくれた男子野球部員の皆さんの挨拶がとても印象的でした。学校見学や部活動体験を通して、この学校ならしっかりと野球にも勉強にも打ち込めるかもしれないと強く思いました。そして、娘は何の迷いもなく島根中央高校に進学したいという意思を固めていました。

春に娘を送り出してから3ヶ月が経ちました。掃除や洗濯など、自分の身の回りのことができるようになり、部活動や勉強に関しても自分自身がどうしていきたくかという考えをしつかりと持っている姿を見て、頼もしく思い、成長を感じています。

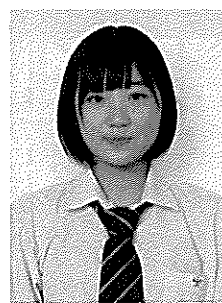
学校生活は、毎日が楽しいよう

うで安心していきます。部活動では、13人もの仲間に恵まれ、とても良い環境で野球の練習ができています。

先生方をはじめ、地域の皆様には子どもたちを温かく見守っていただいて、心から感謝しております。

たくさんの夢や希望を抱いて入学した島根中央高校で、実りの多い高校生活を送っていることを願っています。

〈山田陽真里さんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由はなんですか？

島根県に女子硬式野球部ができたこと聞き、オープンスクールに参加しました。部活動の設備も整っていて、とてもよい環境の中で野球や勉強に打ち込めると思ったからです。

Q 入学してからこれまでを振り返ってみてどうでしたか？

最初は不安でいっぱいでしたが、今では毎日がとても充実していてとても楽しい日々を過ごしています。

Q 入学して自分が変わった(成長した)と思うことは何ですか？

寮に入って、自分のことは自

分のできるようになり、自立してきたなと思いました。

Q 家族に向けて一言！

毎日、親のありがたみを感じています。3年後の陽真里に期待しててください。

「自立への思い」

2年2組 鳥飼 響 母  
(香川県 白峰中出身)

わが子は、中学時代、本来のまじめな性格から、部活と勉強の両立で体を壊し、毎日の学校生活だけで精一杯でした。そんなとき、父親がしまね留学のHPを見る機会があり、自然の中のびのびと勉強する環境に魅力を感じ、息子と合同説明会に参加しました。最初は家を出ることに不安もありましたが、何度も何度も合同説明会、オープンスクールに参加する中で、川本町役場の方や先生の島根中央高校への熱い思いを知り、緑の山々と美しい川、部活動の活気に満ちたこの学校に行きたいと息子は決意しました。

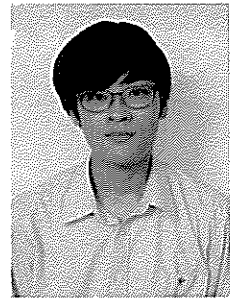
一人で生活できるのか？友達とはできるのか？体調は大丈

夫か？いろいろな心配がありましたが、「優しい先輩、優しい友達がたくさんできました。先生、地域の方、島根のみんなが大好きです。」と息子の話を聞いた。今は、体調を崩すことなく、ボランティア活動、生徒会活動と自分の好きなことに打ち込み、学校生活をのびのびと楽しんでいきます。

先生方、地域の方、まち親さん、寮の関係者の方、いろんな人があたたかい声をかけてくれ、息子が自信を持って前に進めることが何よりもうれいことです。親だけでは教えられないことを、川本の皆さんが息子に教えてくれているように思います。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

これからは自分の経験を活かし、後輩や地域の皆様の力になれるような人材に成長していつてもらいたいです。

〈鳥飼響くんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由はなんですか？

島根中央高校は、しまね留学を推進している学校の中でも、県外生の割合が高く、それぞれ個性があり、楽しそうな学校だと思ったからです。

Q 入学してからこれまでを振り返ってみてどうでしたか？

島根県に来て、しかも寮生活で家族や地元の友達とも離れ、初めは不安や心配が多かったですが、クラスには個性豊かな仲間がいて、明るく話しかけてくれたので、少しずつですが仲良くなっていきました。寮でも優しく頼れる先輩にも恵まれ、島根中央高校に入学して本当に良かったと思えました。

Q 入学して自分が変わった(成長した)と思うことは何ですか？  
新しい場所、新しい生活で入

学時は心を躍らせながら学校生活を過ごす中、「せつがく親元を離れて島根県に来たのだからこの3年間で得られるだけのたくさんの経験をしよう」と思い、生徒会や進学ゼミ、ボランティア活動とさまざまなことに挑戦しました。今は、生徒会副会長に当選し、できることや挑戦できることが増えたので頑張りたいと思います。

Q 家族に向けて一言！

15年間育った地元を離れ、もう2年目です。今の僕がいるのは、陰から見守ってくれた家族の応援があったからです。まだまだ苦勞をかけますがよろしくお願いします。

令和元年度

部活動結果



国際大会 全国大会 中国大会

■カヌー部

〔2019アジアパシフィックカヌースプリント大会〕

★U16男子日本代表として1年生の小鍵亮太さんが出場しました

男子カヤックペア 優勝  
男子カヤックシングル 3位

カヤックリレー(ミックス) 3位

金メダル：1個  
銀メダル：1個  
銅メダル：2個

〔カヌースプリントジュニア海外派遣選手最終記録会〕

男子カヤックシングル200m (決勝)  
小鍵 亮太 5位  
男子カヤックシングル500m U17(決勝)  
平田 修希 4位  
U16(決勝)  
小鍵 亮太 2位

男子カヤックシングル1000m U17(決勝)  
平田 修希 3位

男子カヤックペア1000m (決勝)  
中島・中野組 2位

女子カヤックシングル1000m U16(決勝)  
高橋 優花 3位

〔第7回中国高等学校カヌー選手権大会〕

男子カヤックシングル500m 小鍵 亮太 1位  
平田 修希 2位

男子カナディアンシングル500m 橋本 春彦 4位

女子カヤックシングル500m 高橋 優花 3位

男子カヤックペア500m 小鍵・平田組 1位

齋藤・行田組 2位

男子カヤックフォア500m 小鍵・齋藤・中野・平田 1位

■陸上競技部

〔第102回全山陰陸上競技大会〕

女子走幅跳(決勝)

野口 月華 5位

〔第72回中国高等学校陸上競技対校選手権大会〕

男子5000m競歩

安部 暖人 9位

針山 弘基 15位

女子走幅跳

野口 月華 15位



県高校総体

■カヌー部

男子カヤックシングル500m

小鍵 亮太 1位

平田 修希 2位

中野 湧太 3位

男子カヤックペア500m

平田・小鍵 1位

齋藤・行田 2位

中野・中島 3位

男子カヤックフォア500m

小鍵・平田・中野・齋藤 1位

男子カナディアンシングル500m

橋本 春彦 4位

女子カヤック500m

高橋 優花 4位

1年女子カヤックシングル200m

松岡 華加 1位

★男子カヤックシングル・ペア・フォアで一位を取った、小鍵・平田・中野・齋藤は8月に行われる全国高校総体に出場します。

■陸上競技部

男子5000m競歩

安部 暖人 2位

針山 弘基 3位

女子走幅跳

野口 月華 5位



■バレーボール部

女子

島根中央 2-1

島根中央 0-2

松江西 大社

■ソフトテニス部

女子団体

島根中央0-3 石見智翠館

男子個人

澤津・砥谷0-4 松江工業

女子個人

一回戦

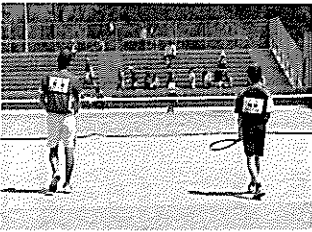
佐々木・本山4-1 松江高専

二回戦

安東・柿田1-4 松江北

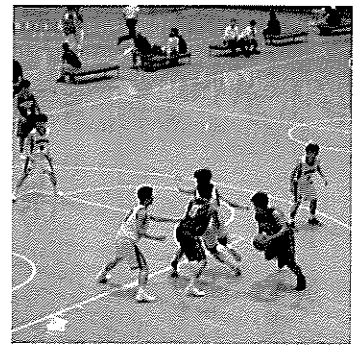
堀・植田 1-4 浜田

佐々木・本山0-4 安来



■バスケットボール部

男子 島根中央38-76 開星



■剣道部

女子団体

島根中央2-2 出雲西 (本数差負)

男子個人

坂根 慎之介 一回戦

女子個人

井上 風 三回戦

木村 涼香 二回戦

酒井 星来 一回戦



その他の大会活動

【島根県高等学校春季野球大会】西部地区予選

島根中央3-2 益田翔陽

県大会

一回戦

島根中央11-7 出雲

準決勝

島根中央0-1 三刀屋

【みさと町民文化祭】家庭クラブ・写真部・吹奏楽部が参加

お知らせ

7月27日(土)

「ええなあまつりかわもと」

PTA巡回活動

「美郷夏祭り」

PTA巡回活動

8月17日(土)

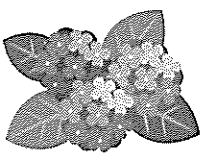
PTA奉仕活動

(校内除草活動)

8月30日(金)～9月1日(日)

学園祭

(PTAバザーは8月31日(土))



編集後記

来年開催されるオリンピックに向けての準備が着々と進む中、聖火リレーのルートが先日発表され、島根中央高校がある川本町もその中に含まれていました。

一区間二百メートル程とのこと、一生の思い出に走ってみたい気もしますが、やっぱり応援の方が楽しいので、誰か知り合いが走ってくれないかなあと思う今日この頃です。島中生の皆さん、どなたか応募してみてくださいませんか？

さて、今年度最初のMessageはいかがだったでしょうか？生徒たちの学校での様子などを身近に感じて頂ければ幸いです。

今回寄稿してくださいました皆様、お忙しい中ありがとうございました。

間もなく暑い夏がやってきます。熱中症に気を付けて、元気に夏を乗り切りましょう。